



福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-23-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011年—2012年 RI テーマ

- 会長：高橋和之 ■幹事：菅原節子
- 会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：鈴木光一
- 委員：丹治智幸 丹治洋子 福田昌明

第39回例会

平成24年4月25日(水) サンパレス福島

■メークアップ/31名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/36名 ■出席率/53.73%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 福島大学「学生の力で世界とつながろうプロジェクト」
曾田 めぐみ さん 松本 学 君
- 4 復興支援室報告
廣澤 俊樹 室長
- 5 地区 職業奉仕セミナー報告
金子 親房 委員長
- 6 第2530地区「ロータリーの友」
地区代表委員スピーチ 安藤 元二 様
- 7 閉会点鐘

今月・来月のプログラム

- 5月 2日(水) 休会
- 5月 9日(水) 渡辺 健寿ガバナー補佐訪問
- 5月 16日(水) 誕生者お祝い・誕生者スピーチ
第12回理事会
- 5月 23日(水) ゲストスピーチ
第2530地区各委員会委員長・委員
- 5月 30日(水) 移動例会 ヤクルト福島工場

今週のトピックス

関越自動車道で、ツアーバスによる悲惨な事故が発生しました。金沢からTDRまで3,500円。安価は魅力ですが・・・
大事故が発生しないと、制度改正は行われないのでしょうか？

◆会長あいさつ◆



高橋 和之 会長

例会前に臨時理事会を開催いたしました。 「学生の力で世界とつながろうプロジェクト」に対する募金要領について決定いたしました。詳細につきましては、後ほど廣澤俊樹復興支援室長から説明してもらいますが、募金の期間は本日から5月末日までです。企業からの募金もお受けいたしますので、沢山のご協力をお願いいたします。

さて、次年度に向けた準備も着々と進められておりますが、次年度早々の7月11日にはガバナー公式訪問と、13日は当南ロータリークラブがホストとなりまして、ガバナー歓迎晩餐会が開催されます。

また、7月7日(土)は、リトルリーグ「大声杯」の予定ということです。本日も次年度行事の準備委員会がございましたが、次年度からご活躍いただく 紺野会長エレクト体制に、ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

今年度も残すところあと2ヶ月となりまして、次年度の準備を進めながらも7回の例会をこなして参りたいと思っておりますので、残された期間もご協力よろしくお願いいたします。

6月6日は地区協議会となりましたので、例会は休

会とさせていただきます。そして6月20日の予定でありました新旧委員会歓送迎会は、6月27日の最終例会に変更となる予定です。

従来は観山荘で一泊の懇親会を開催していましたが、今年は宿泊せずに桑折町振興公社直営の桑折温泉「うぶかの郷」で行う予定です。

「うぶかの郷」はゲンジボタルの生息地で有名なところ。ホテルの飛びかう期間はおおむね半月くらいとの事ですが、毎年見ごろのピークは6月27日・28日ごろということです。絶好のチャンスでありますので、今から日程調整をお願いします。きっとホテルとの「出会いと感動」の新旧委員会歓送迎会になるものと思います。

先日の日曜日に下見に行きまして、閑静でリラックスできる良いと感じました。来週の29日(日)に行われるホテル幼虫放流会のチラシを頂いてきましたのでご覧になってください。

本日は、「学生の力で世界とつながろうプロジェクト」の実行委員であります福島大学の曾田めぐみさんと松本学君に、ショートスピーチをお願いしております。

また、食後は、ロータリーの友地区代表委員であります安藤元二様のゲストスピーチです。よろしくお願いいたします。

◆学生の力で世界とつながろうプロジェクト◆

福島大学 曾田めぐみさん 松本 学 君



大震災と原発事故により福島は一躍世界の「FUKUSHIMA」になりました。しかし福島の実態は、一部しかメディアに報じられていない。このまま

では、被災の記憶が次第に忘れ去られてしまうのではないかと懸念されます。これからの福島を復興・復興させるためには、学生が主体となって、福島の実態を国内外に発信してゆく必要があります。

そこで福島県内の大学生が結集して「学生の力で世界とつながろうプロジェクト」を立ち上げました。実行委員会では、以下の内容で研修ツアー参加者を募集しています。

2012年6月10日(日)～6月16日(土) 7日間
内容は、①福島県の学生による企画授業 ②津波被災地域・原発事故被災地域の視察、ヒアリング、現地交流会 ③「農業」「観光業」などのテーマ毎のグループワーク、成果発表会

私たちは、この事業を通じて生の福島県の現状を知ってもらいたい。それによって、福島県について話し、考えるきっかけとなり、今回の震災・事故を風化しないようにしてほしいと強く感じています。

今回の事業を立ち上げるにあたり、高橋会長をはじめ福島南ロータリークラブの皆様のご協力により開催できることに深く感謝申し上げます。

◆復興支援室 報告◆ 廣澤 俊樹 室長



この事業の目的は、趣意書にあるよう日本と世界の学生に福島に集まってもらい、福島の学生による案内の下、被災地を訪れその現実とそこに住む私たちの

生活を感じてもらおうとともに、福島の学生との「共通の体験」をもとに、福島の復興・復興のあり方とそれを支援する方策を、共に考えるという機会を創出すること、福島での体験を「証言者」としてそれぞれの地元や国に戻って、自らの言葉で福島の現実を広く伝える役割を担ってもらうことです。

この事業を通じて培った世界的な視野と人間関係を今後の福島と東北の復興に活かすことで次世代の人材としての成長が期待されています。「地域は人づくり」と言われるが、災害復興においても全く同様であると考えます。ご理解・ご協力をお願いします。

◆地区 職業奉仕セミナー 報告◆

金子 親房 委員長



4月21日(土)に磐梯熱海温泉の華の湯において、第2回地区職業奉仕委員会が開催されました。

今年度のテーマである「四つのテストを深耕しよう」を基に事業計画の実施状況及びアンケートの結果報告がなされました。例会での複唱、職業倫理・職業奉仕に関するディスカッション、メーキャップを頂いた際の職業分類・事業者名などの

紹介は、90%以上のクラブで実施をされていると喜ばしいものがありました。

しかし、高校生に対しての講話を行うことや、ポスター看板などでロータリーを内外に発信することなどは、予算・場所などの関係で低い結果となりました。他に福島21RCなど5RCが表彰され事例発表を行いました。

◆「ロータリーの友」地区代表委員スピーチ◆

安藤 元二 様



「ロータリーの友」はRIより認可を受け発行されているロータリーの地域雑誌です。1953年1月創刊で、発行部数96,600部(2012/3)です。1972年1月号

より現在のように、縦組み横組みが分かれた編集になりました。(創刊号は横組み)横組みは、RI指定記事や特別月間特集などの公式の記事が中心になっています。縦組は、ロータリアンのコミュニケーションの懸け橋となる投稿記事が中心です。

投稿する際には、生き生きとした動きがあり、色彩の美しい写真が重要なポイントで活動の様子が分かる写真を投稿してほしい。また、原稿は、ポイントを絞る。クラブのことや写真の内容説明。活動日の記入(一か月以内に限る)をしてロータリーの友事務所へ送付してください。

◆スマイリングボックス◆

本日は、よろしくお願いたします。

郡山西RC 安藤 元二 様

本日、お世話になります。5月3日から5日まで「四季の里」で「がんばろう福島子どもフェスティバル」が行われ北クラブが主催します。皆様是非お越しください。福島北RC 宮崎 泰明 様
安藤元二様のスピーチに感謝して！

高橋 和之 会長

安藤様のスピーチに感謝いたします。

菅原 節子 幹事

安藤元二ロータリーの友地区委員のスピーチに感謝

穴戸 清和 会員

今年が良い春・花を見ました。鈴木 光一 会員

宮崎さんを歓迎して。 富田健三郎 会員

安藤様スピーチありがとう 林 克重 会員

福大の皆様・安藤元二様スピーチありがとうございました。

廣澤 俊樹 会員

スマイル 37,000円 累計 1,667,873円

財団・米山 36,000円 累計 1,654,000円

～一週一言～

父母憲章2

家庭は人間教育の素地である。子供の正しい徳性とよい習慣を養うことが、学校に入れる前の大切な問題である。 安岡 正篤 一日一言より

一編集後記一

福島市在住の新入社員2名が、研修を終え支店に配属された。箇所全体で育て、支店の核となる人材としたい。(福田)